



陸上競技部 監督 川崎 勇二

—— 箱根駅伝を終えて ——

ご声援ありがとうございました。皆様方の熱いご声援のおかげで、総合3位という好成績を残すことができました。今年は、篠藤主将を中心に4年生がリーダーシップをしっかりと発揮して、まとまりのある良いチームを作ってくれました。そのお陰で、チーム全体の底上げができたように思います。良いチームができれば、結果も付いてくると改めて実感しました。

過去2回大会(82、83回)は、言葉で言い表せないほどの悔しさを味わってきました。その思いがあったからこそ、今回ここまでやれたのかなと感じています。しかしながら、完全燃焼というまでには至っておりません。今後は、力のある4年生が抜けますが、今回得ることができた「その気になればできる」「やればできる」ということを新チームにも引き継ぎ、生かしていきたいです。今後とも、変わらぬご声援をよろしくお願いいたします。

総合順位	大学名	総合記録	総合順位	大学名	総合記録
1位	駒澤大学	11時間05分00秒	11位	城西大学	11時間20分19秒
2位	早稲田大学	11時間07分29秒	12位	日本体育大学	11時間20分30秒
3位	中央学院大学	11時間11分05秒	13位	国士舘大学	11時間23分43秒
4位	関東学連選抜	11時間12分25秒	14位	専修大学	11時間25分37秒
5位	亜細亜大学	11時間14分10秒	15位	神奈川大学	11時間27分22秒
6位	山梨学院大学	11時間15分00秒	16位	法政大学	11時間28分06秒
7位	中央大学	11時間16分32秒	17位	東京農業大学	11時間30分58秒
8位	帝京大学	11時間16分48秒	棄権	東海大学	——
9位	日本大学	11時間16分52秒	棄権	大東文化大学	——
10位	東洋大学	11時間17分12秒	棄権	順天堂大学	——

区間	選手名	記録(区間順位)
1区(21.4km)	鈴木 忠 法学部1年	1時間04分51秒 (9位)
2区(23.2km)	木原 真佐人 商学部3年	1時間07分42秒 (3位)
3区(21.5km)	堀 宏和 商学部3年	1時間05分14秒 (10位)
4区(18.5km)	小林 光二 法学部1年	56分48秒 (13位)
5区(23.4km)	伊藤 達志 法学部4年	1時間22分41秒 (10位)
6区(20.8km)	渡部 政彦 商学部3年	1時間00分58秒 (9位)
7区(21.3km)	大内 陽介 商学部4年	1時間05分42秒 (7位)
8区(21.5km)	辻 茂樹 商学部3年	1時間07分28秒 (11位)
9区(23.2km)	篠藤 淳 商学部4年	1時間08分01秒 (1位新)
10区(23.1km)	池田 政輝 商学部4年	1時間11分40秒 (7位)



第3位入賞

シード権獲得

金栗杯

最優秀選手賞受賞

HAKONE EKIDEN



KERR 東京箱根間往復大学駅伝競走  
主催 関東学生陸上競技連盟 共催 読売新聞社 後援 報知新聞社/日本テレビ放送網

第39回 全日本大学駅伝対校選手権大会

総合10位 ※出場25大学 5時間25分12秒

ご声援ありがとうございました!

区間	選手名	記録(区間順位)
1区(14.6km)	松浦 貴之 商学部4年	43分56秒 (11位)
2区(13.2km)	篠藤 淳 商学部4年	38分04秒 (4位)
3区(9.5km)	寺田 啓志 商学部3年	29分08秒 (13位)
4区(14.0km)	木原 真佐人 商学部3年	41分07秒 (3位)
5区(11.6km)	辻 茂樹 商学部3年	35分20秒 (6位)
6区(12.3km)	渡部 政彦 商学部3年	38分07秒 (14位)
7区(11.9km)	三浦 隆稔 法学部2年	37分13秒 (12位)
8区(19.7km)	大野 紘崇 法学部2年	1時間02分17秒 (15位)

学生三大駅伝 出場決定!!

10.13 出雲駅伝 3年ぶり3回目

第20回出雲全日本大学選抜駅伝競走

出場21チーム 区間: 44.0km(全6区間)



11.2 2年連続5回目 全日本大学駅伝

秩父宮杯第40回全日本大学駅伝対校選手権大会

出場25チーム 区間: 106.8km(全8区間)



2009 1.2・3 箱根駅伝 7年連続10回目

第85回東京箱根間往復大学駅伝競走

出場20チーム 区間: 217.9km(全10区間)



皆さまのご声援、よろしくお願いいたします!



ご声援  
ありがとう  
ございました!

# 箱根駅伝

6年連続9回目

全学の心を一つにし  
メダルへ繋いだ襷



## ツインエースが牽引 史上最高の3位進出!

第84回東京箱根間往復大学駅伝競走(大手町~芦ノ湖往復10区間217.9km)は、シード校10校と予選会通過の9校に関東学連選抜を加えた計20チームが出場し、2008年1月2・3日に開催された。日本代表を競うほどのスーパーエースが集結した本大会は、2区、7区、9区で3つの区間新記録が生まれるスピード駅伝を展開した。その一方で、史上最多の3校が途中棄権という波乱の大会となった。

6年連続9回目の出場となった本学は、予選会をトップ通過したことからシード権獲得の期待を担っての出場となった。大荒れの駅伝の中、篠藤、木原の“ツインエース”のパワーを活かしたレース展開でチーム全体が流れに乗り、終始上位をキープ。予想を大きく上回る過去最高の総合第3位という、文字通りワンランク上の結果を手にした。

## キャプテン篠藤淳が 栄えある金栗杯を獲得



今大会の最優秀選手(金栗杯)に、9区で区間新記録(1時間08分01秒)をマークしたキャプテン篠藤淳が選ばれた。過去最高の3位躍進の原動力となったことが評価された結果だ。卒業後は日本選手権優勝の実績を持つ3000m障害で北京五輪出場をめざすという。

重ねて、皆々様に感謝を申し上げますとともに、引き続き、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 学長 椎名 市郎

皆様のご支援を糧に  
復路2位、総合3位、  
そして、  
最優秀選手賞受賞!

平素、本学陸上競技部に物心両面でのご支援、ご声援を頂いておりますこと、心より御礼申し上げます。

昨年の10月、東京立川での箱根駅伝予選会では、出場校42校中、本学は第1位の成績を収め、かつ、エース木原真佐人君が参加選手487名中、日本人第1位の成績でした。その余勢をかって、本年1月の「超戦国駅伝」本戦では、川崎勇二監督指揮下、本学選手諸君、関係者一丸となり実にさわやかな感動の走りをしてくださいました。

往路5位、復路2位、総合3位、そして200名の出場選手の中で最も評価される最優秀選手賞(金栗杯)にキャプテン篠藤淳君(第9区新記録・区間賞も受賞)が選ばれました。

本学の選手諸君はどちらかといえば天性の素質に恵まれた選手ではなく、ただ黙々と人の何倍も汗をかいて勝ち取った努力の成績です。これは、本学教育理念の一つの具現化された成果ともいえます。

重ねて、皆々様に感謝を申し上げますとともに、引き続き、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 往路

### 序盤からの接戦の中で 上位の流れをつかむ!

1区はトップから30秒以内に13チームがひしめく接戦の中、鈴木が9位という絶好の位置で2区の木原へ。エース木原は10km過ぎで単独2位に上がる走りで一気に上位の流れに乗せ、3区の堀が2位をキープ。4区の小林も粘りの走りを見せ、3位で襷をつなげていった。5区の伊藤は4年連続の山上がりで堅実な走りを見せて、過去最高の往路5位でゴールした。



鈴木 忠 法学部1年 (千葉・拓大紅陵)

4年生に迷惑をかけないように走りました。まだまだ力不足ですが、それなりの走りができ、チームにいい流れをつくることができたのではないかと思います。

木原 真佐人 商学部3年 (兵庫・報徳学園)

自分にできることをしようという思いで頑張り、監督の「迷わず思い切り走れ」という指示が実行できたと思います。沿道の応援が大いに励みになりました。

堀 宏和 商学部3年 (宮城・利府)

初出場なのでチームのために1秒でも早く襷をと考えて走りました。2位で襷を受け取った時は最高の気分でした。自分のリズムで走ることができたと思います。

小林 光二 法学部1年 (橋本・那須拓陽)

監督の「攻めの気持ちで走れ」というアドバイスは半分くらいしか実行できませんでした。あまり緊張せず応援を励みに、自分の力が出せたと思います。

伊藤 達志 法学部4年 (橋本・那須拓陽)

この4年間で一番苦しい山上がりになりました。ゴールの瞬間はほとんど意識がない状態でした。それでも、もう一度走れるなら、やはり5区を走りたいと思います。



## 復路

### 篠藤の驚異的な走りで 3位に浮上しゴール

復路は、6区渡部、7区大内、8区辻がそれぞれ力強く走り、5位、6位、6位とつないでいった。そして襷はもう一人のエース、9区の篠藤へ。篠藤はこれまでの区間記録を37秒も更新する驚異的な走りで3人を抜き、10km過ぎで3位に再浮上した。10区の池田が堅実な走りで順位をキープ、チームメイトの声援の中、小さなガッツポーズをつくりゴールに飛び込んだ。

渡部 政彦 商学部3年 (大分・竹田)

初めての山下りで不安もありましたが、頑張って最低限の走りはできました。来年は主力となって平地を走れるようにしたいと思います。

大内 陽介 商学部4年 (茨城・水城)

去年の反省から、しっかりと失速せずに走ろうと思っていましたが、後半に少し甘さが出てしまいました。後輩には悔いのない競技生活を送って欲しいです。

辻 茂樹 商学部3年 (大阪・北陽)

去年のリベンジの気持ちで走りましたが、もう少し良い順位で襷を渡したかったです。箱根の経験を生かして、さらに強いチームを作っていきたいです。

篠藤 淳 商学部4年 (兵庫・飾磨工業)

最後の年でひときわ想いの強い「箱根」でした。チームメイトが上位の流れでつないでくれたので、それに乗って自分もリズムができて後半までいけました。

池田 政輝 商学部4年 (兵庫・姫路商業)

良い順位で襷を受け取り、監督の指示通り「守りに入らず攻めの気持ち」で走りました。足が痛かったのですが、ゴールでは旗も見え、応援も聞こえました。

